

平成26年3月期

決算説明資料

平成26年6月26日



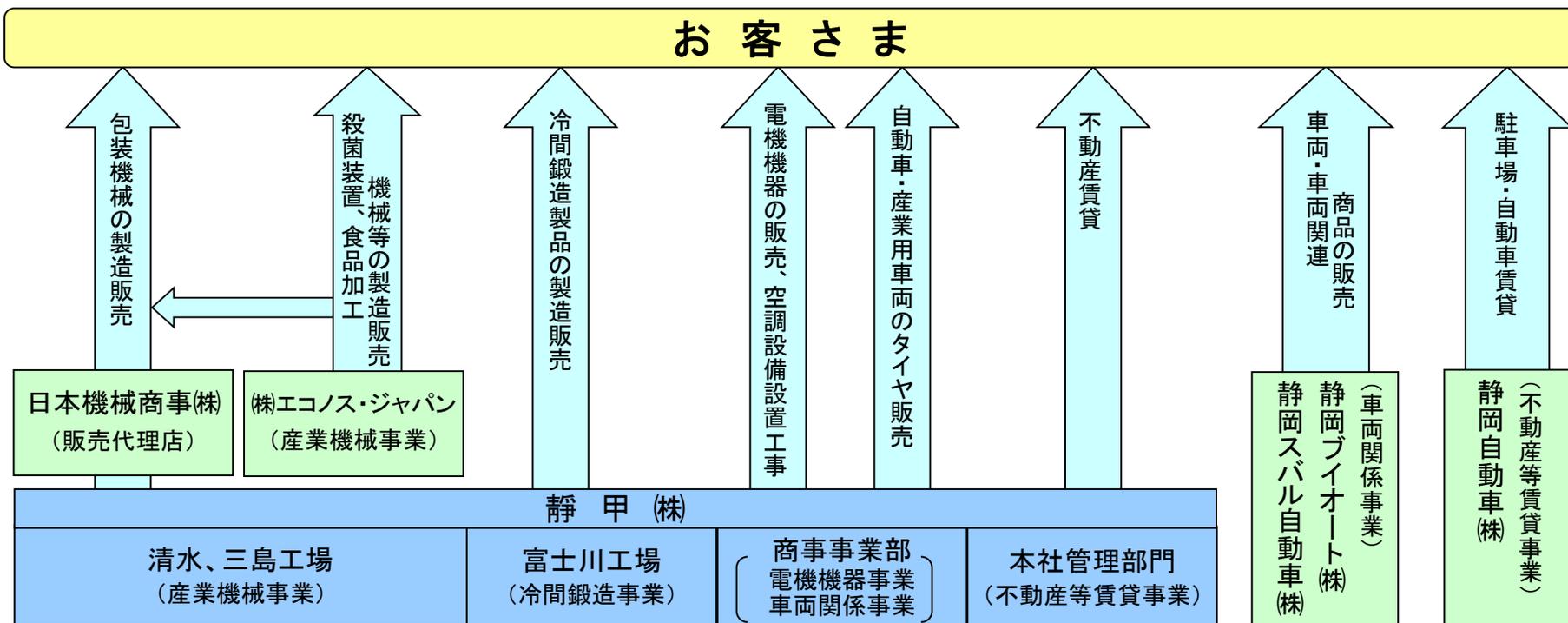
目 次

会社概要	P 1
グループ概要(連結子会社)	2
平成26年3月期 業績の概要(連結)	3 ~ 7
業績の推移(連結)	8
連結財務諸表	9 ~ 12
業績の推移(個別)	13
個別財務諸表	14 ~ 16
トピックス	17

会社概要

会社名	静甲株式会社
設立	昭和14年5月18日
上場市場	大阪証券取引所 J A S D A Q 市場（平成2年10月 上場）
発行済株式総数	6,472,186株（自己株式11,137株を除く。単元株式数 100株）
代表者	取締役社長 鈴木恵子
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
資本金	13億3千7百万円
売上高	連結 273億2千8百万円 個別 95億6千万円（平成26年3月期）
従業員数	連結 643名 個別 317名（平成26年3月31日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 液体自動充填機などの自動包装プラントの製造販売■ 冷間鍛造製品の製造販売■ F A（ファクトリーオートメーション）機器、空調設備、モーター、非常用電源設備、エレベーターなどの総合電機設備機器の販売及び電機・空調設備工事■ 自動車・産業用車両のタイヤ販売
連結子会社	日本機械商事(株)（本社：東京都）、静岡スバル自動車(株)、(株)エコノス・ジャパン、静岡自動車(株)、静岡バイオオート(株)

グループ概要（連結子会社）



■ 連結子会社の状況（平成26年3月31日現在）

会社名	資本金	当社の 議決権比率	主な事業内容
日本機械商事株式会社(本社:東京都)	150,000千円	100%	包装機械の販売
静岡スバル自動車株式会社	50,000	100	自動車の販売修理
株式会社エコノス・ジャパン	30,000	100	殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
静岡自動車株式会社	16,000	100	駐車場業・レンタカー業
静岡ブイオート株式会社	20,000	100	輸入自動車の販売修理

(注) 静岡ブイオート株式会社は、静岡スバル自動車株式会社の100%子会社です。

平成26年3月期 業績の概要（連結）

当連結会計年度における我が国の経済は、政府による経済・金融政策により円安、株高が進行し、企業業績の改善や個人消費の持ち直しなど、景気回復の兆しがみられました。しかし、消費税増税に伴う駆け込み需要があったものの、その反動減が懸念され、また、県内における景気回復の足取りは鈍く、先行き不透明な状況が続きました。

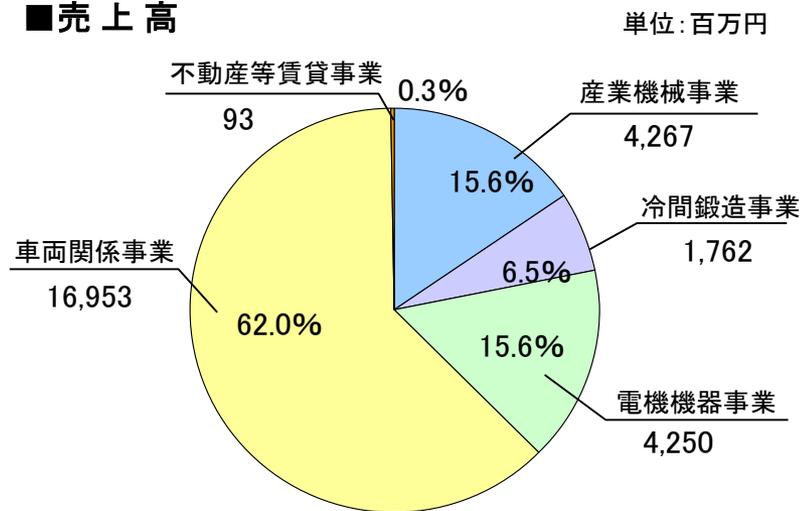
このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、前期に引き続き「防災・省エネ・IT」をキーワードに設備投資を実施するとともに、お客さまのニーズに合った新製品の開発を継続するなど、製品競争力の強化及び販売店との関係強化を図り安定した受注確保に取り組んでまいりました。

各セグメントの業績については、売上高は、車両関係事業では登録車の販売が引き続き好調であったため、前年同期の実績を大きく上回りました。また、産業機械事業、電機機器事業も前年同期の実績を上回り、冷間鍛造事業は前年同期並みとなりました。

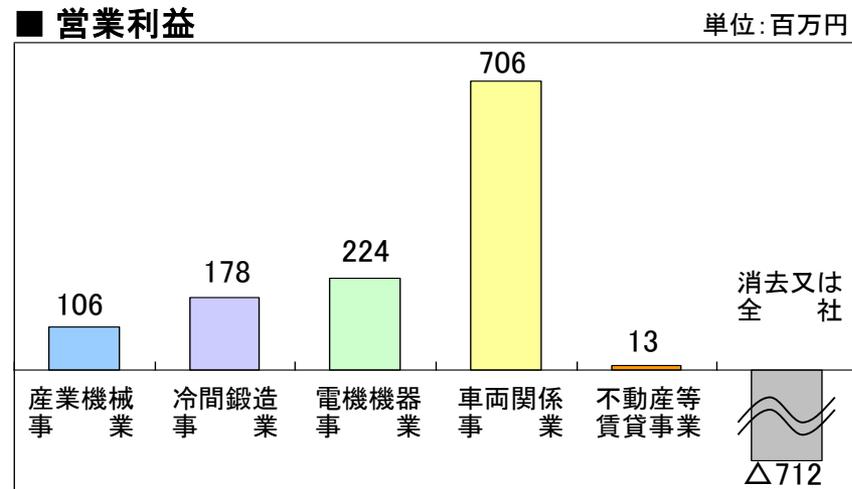
これらの結果、当社グループの売上高は前年同期比8.4%増の273億2千8百万円となりました。利益面では、車両関係事業の増収が大きく寄与したものの、産業機械事業で開発要素の多い案件を売り上げたことによる原価高などにより、経常利益は前年同期比22.3%減の5億7千1百万円、当期純利益は車両関係事業における拠点の統廃合に伴う減損損失の計上などにより、前年同期比53.5%減の2億5百万円となりました。

セグメント別売上高・営業利益

■売上高



■営業利益



(注)「消去又は全社」は、主にセグメント別に配賦することができない当社の管理部門に係わる費用です。

各事業セグメントの業績

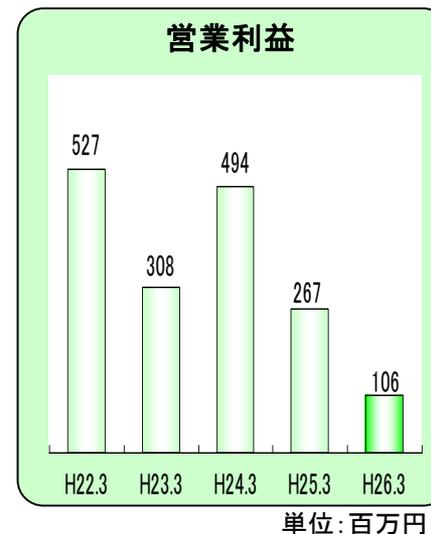
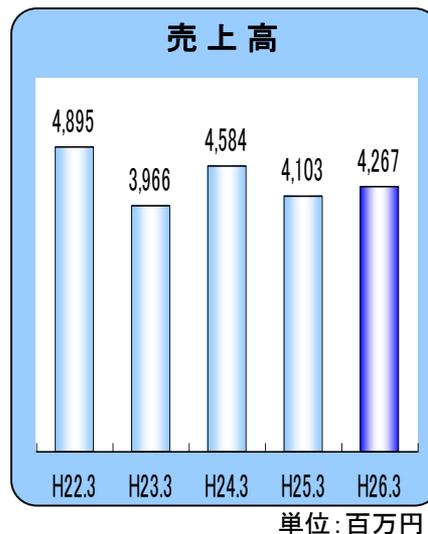
— 産業機械事業 —

業績

主要な販売先である食品業界をはじめとして、景気回復の兆しの中で期前半は設備投資が増加いたしました。期後半にかけては受注が一段落しました。また、改造工事案件を多く売上げることができ、これらの結果、売上高は前年同期比4.0%増の42億6千7百万円となりました。営業利益は、開発要素の多い案件を売上げたことによる原価高及び設備投資に伴う経費増などにより前年同期比60.4%減の1億6百万円となりました。



スクイズボトル袴レス搬送充填ライン



対処すべき課題

産業機械事業では、お客さまのニーズに合った製品づくりに努めるとともに、変動費管理を柱とした原価管理と機械の標準化も進めてまいります。また、前連結会計年度に引き続き、設計品質の向上や作業効率の改善を目的とした設計情報のデータベース化を進め、業務改善に取り組んでまいります。

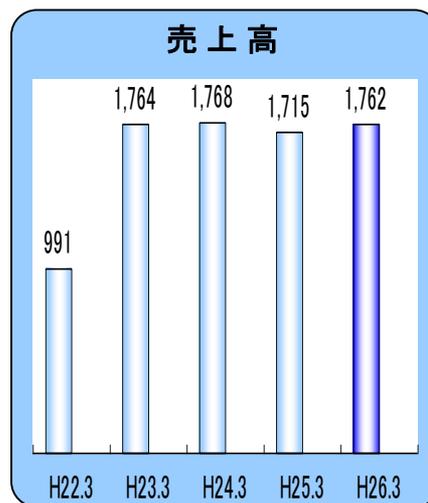
－ 冷間鍛造事業 －

業 績

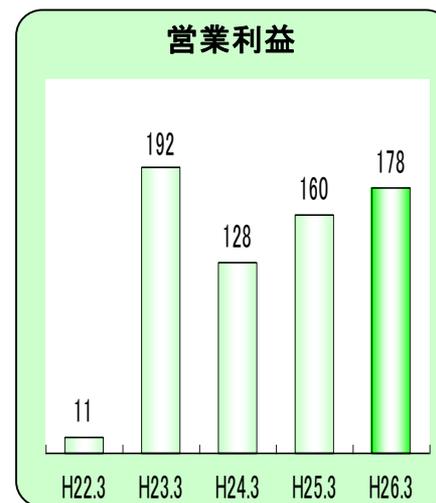
主力の電動工具部品は、前連結会計年度並みで推移いたしました。一方、自動車部品は納入先の北米向けピックアップトラック用部品の増産により受注が増加いたしました。また、事務機・産業機械部品でも受注が増加いたしました。これらの結果、売上高は前年同期比2.7%増の17億6千2百万円となりました。営業利益は前年同期比11.1%増の1億7千8百万円となりました。



新規受注の電動工具部品等



単位:百万円



単位:百万円

対処すべき課題

冷間鍛造事業では、引き続き新規ユーザーの開拓に努めるとともに既存製品の販路拡大にも注力してまいります。また、生産工程の短縮や自動化に取り組み、生産効率の向上や原価低減に取り組んでまいります。さらに成形技術の開発による製品の高精度化にも取り組んでまいります。

— 電機機器事業 —

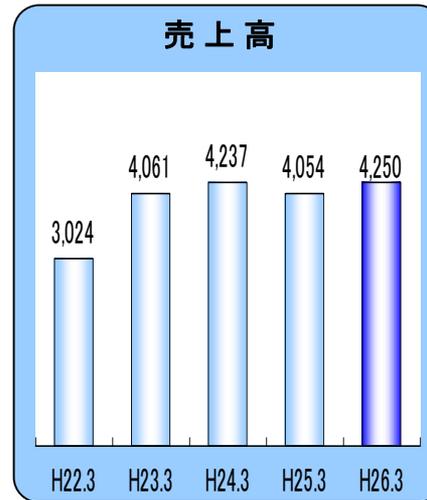
業績

空調・冷熱機器は、更新案件が前年同期の実績を上回ったものの、新規大型物件が少なく、前年同期の実績を下回りました。主力のFA関連機器は、自動車関連、太陽光関連の需要が堅調に推移したため、前年同期の実績を上回りました。設備機器においても、非常用発電機などの需要が好調であったため、前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比4.8%増の42億5千万円となりました。利益面では、人員の増加による経費増等により、営業利益は前年同期3.0%減の2億2千4百万円となりました。



取扱商品の三菱電機株

FA(ファクトリーオートメーション)用制御機器



単位:百万円



単位:百万円

対処すべき課題

電機機器事業では、新規顧客の開拓を実施するとともに、エンドユーザーへの営業の強化と販売店との関係強化に引き続き取り組んでまいります。主力のFA関連機器では、営業担当者のバックアップ体制をさらに充実させ、新商材の拡販やシステム受注の拡大に取り組んでまいります。

－ 車両関係事業 －

業績

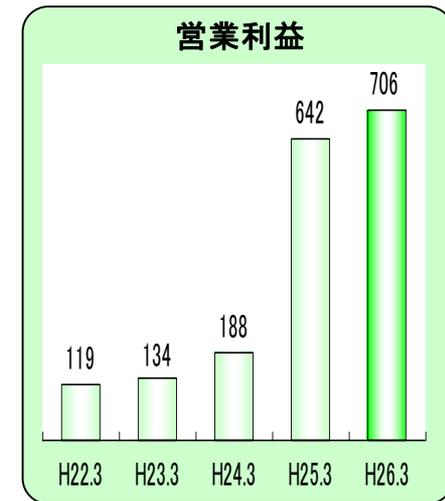
新車販売においてインプレッサ及びフォレスターが引き続き好調に推移し、登録車の販売台数が大幅に増加いたしました。また、中古車販売台数も増加し、さらに、輸入車販売も好調に推移いたしました。これらの結果、売上高は前年同期比11.3%増の169億5千3百万円、営業利益は増収により前年同期比10.0%増の7億6百万円となりました。



スバル LEVORG



単位:百万円



単位:百万円

対処すべき課題

車両関係事業では、固定費削減をはじめとした経営効率の向上を推進するために、引き続き営業拠点の統廃合を進めてまいります。また、登録車販売の強化に努めるとともに、サービス部門など周辺事業の収益力の強化にも取り組んでまいります。さらに、お客さまが来店しやすい環境を作るために、店舗の運営体制の見直しを進めてまいります。

業績の推移（連結）

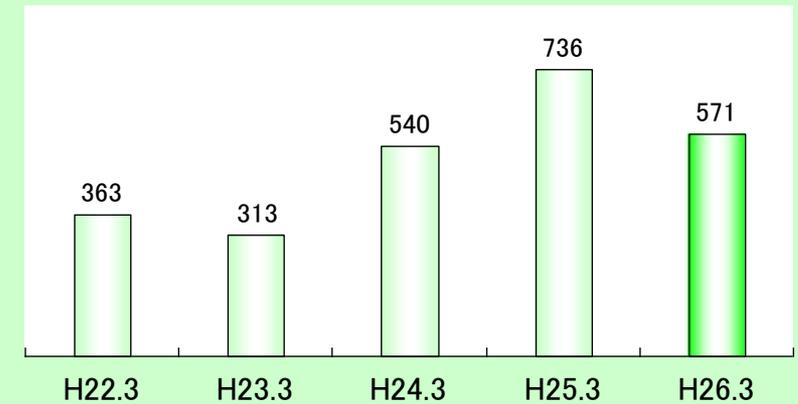
売上高

単位：百万円



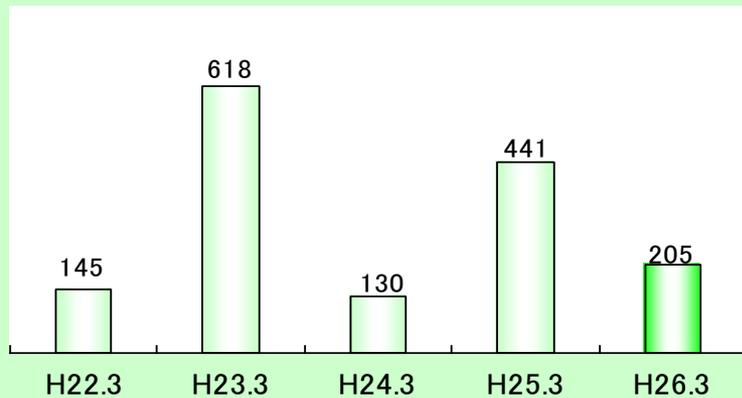
経常利益

単位：百万円



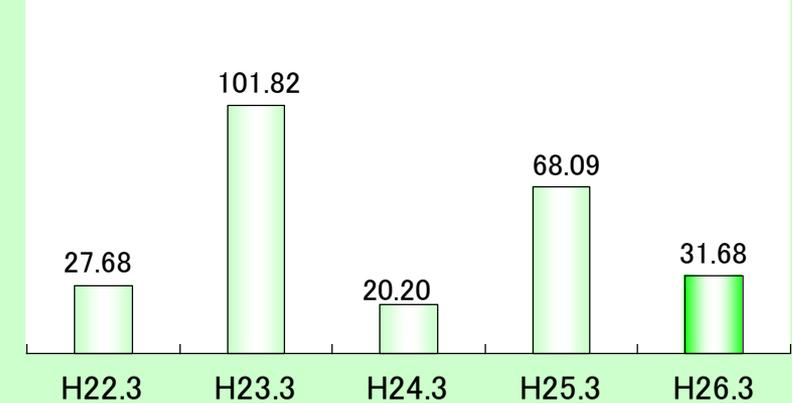
当期純利益

単位：百万円



1株当たり当期純利益

単位：円



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：千円

	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在		平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
流動資産	9,109,339	9,378,988	流動負債	4,246,235	5,318,476
現金及び預金	3,716,630	2,887,623	支払手形及び買掛金	2,299,564	2,953,928
受取手形及び売掛金	3,506,514	4,050,070	その他	1,946,671	2,364,547
たな卸資産	1,350,456	1,915,769			
その他	538,183	528,200	固定負債	1,189,674	1,586,025
貸倒引当金	△ 2,446	△ 2,675	〈負債合計〉	〈 5,435,910 〉	〈 6,904,502 〉
固定資産	8,651,647	10,057,486	株主資本	11,669,474	11,752,964
(有形固定資産)	(6,326,971)	(7,356,277)	資本金	1,337,000	1,337,000
建物及び構築物	1,803,949	2,573,300	資本剰余金	1,833,576	1,833,576
土地	3,289,247	3,276,745	利益剰余金	8,499,596	8,588,168
その他	1,233,774	1,506,231	自己株式	△ 697	△ 5,780
(無形固定資産)	(154,598)	(234,986)	その他の包括利益累計額	655,602	779,009
(投資その他の資産)	(2,170,077)	(2,466,223)	その他有価証券評価差額金	655,602	848,450
投資有価証券	1,794,948	2,096,958	退職給付に係る調整累計額	-	△ 69,441
その他	375,275	369,264	〈純資産合計〉	〈 12,325,077 〉	〈 12,531,973 〉
貸倒引当金	△ 146	-			
資産合計	17,760,987	19,436,475	負債及び純資産合計	17,760,987	19,436,475

連結損益計算書

単位：千円

	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高	25,206,763	27,328,108
売上原価	20,150,208	22,142,796
販売費及び一般管理費	4,367,709	4,681,101
営業利益	688,844	504,211
営業外収益	89,604	113,832
営業外費用	42,378	46,185
経常利益	736,070	571,858
特別利益	53,727	2,392
特別損失	65,353	86,394
税金等調整前当期純利益	724,444	487,856
法人税、住民税及び事業税	280,324	244,753
法人税等調整額	2,734	37,930
当期純利益	441,385	205,172

連結株主資本等変動計算書 (平成26年3月期)

単位:千円

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成25年4月1日 残高	1,337,000	1,833,576	8,499,596	△ 697	11,669,474
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 116,599		△ 116,599
当期純利益			205,172		205,172
自己株式の取得				△ 5,082	△ 5,082
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計	-	-	88,572	△ 5,082	83,489
平成26年3月31日 残高	1,337,000	1,833,576	8,588,168	△ 5,780	11,752,964

	その他の包括 利益累計額	純資産合計
平成25年4月1日 残高	655,602	12,325,077
連結会計年度中の変動額		
剰余金の配当		△ 116,599
当期純利益		205,172
自己株式の取得		△ 5,082
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)	123,406	123,406
連結会計年度中の変動額合計	123,406	206,896
平成26年3月31日 残高	779,009	12,531,973

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

	平成25年3月期	平成26年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,567,727	353,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 967,084	△ 1,676,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 140,913	495,137
現金及び現金同等物の増減額	459,729	△ 828,161
現金及び現金同等物の期首残高	3,208,935	3,684,385
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,721	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,684,385	2,856,224

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、28億5千6百万円であり、前連結会計年度末から8億2千8百万円の資金が減少(前連結会計年度は4億7千5百万円の資金が増加)いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前当期純利益が4億8千7百万円でありましたが、仕入債務の増加、減価償却費の増加等による資金の増加、売上債権の増加、たな卸資産の増加等による資金の減少により、3億5千3百万円の資金が増加(前連結会計年度は15億6千7百万円の資金が増加)いたしました。

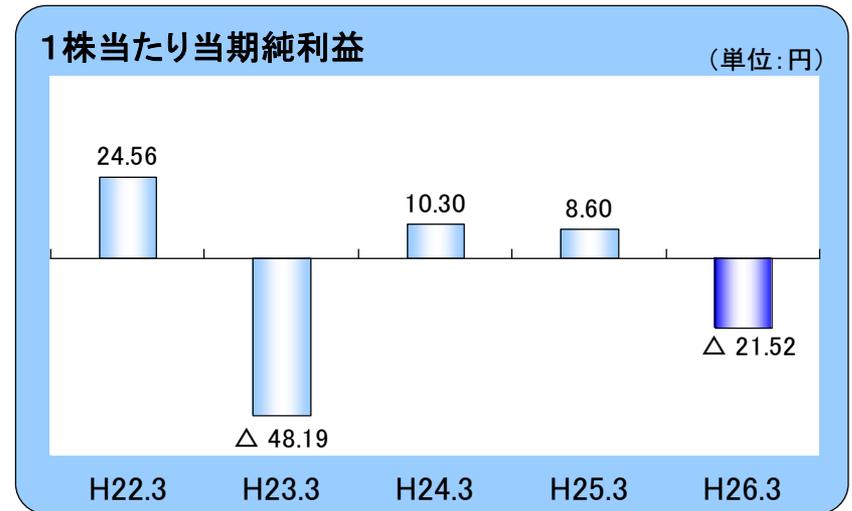
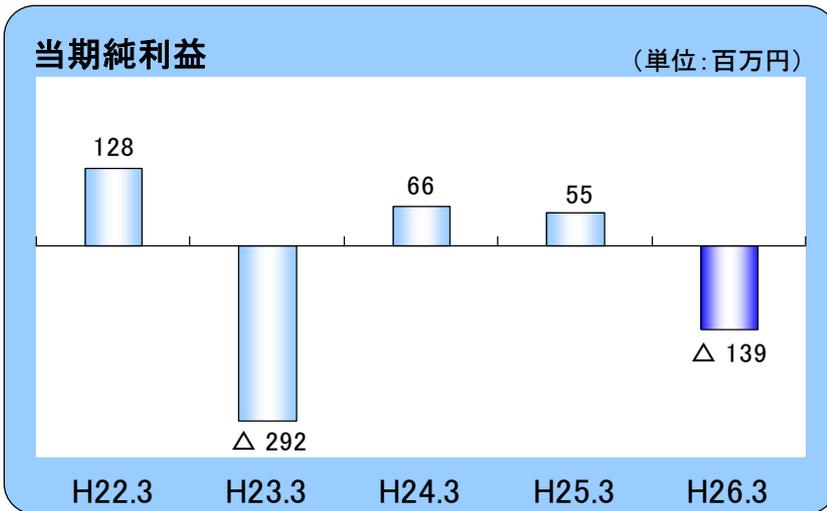
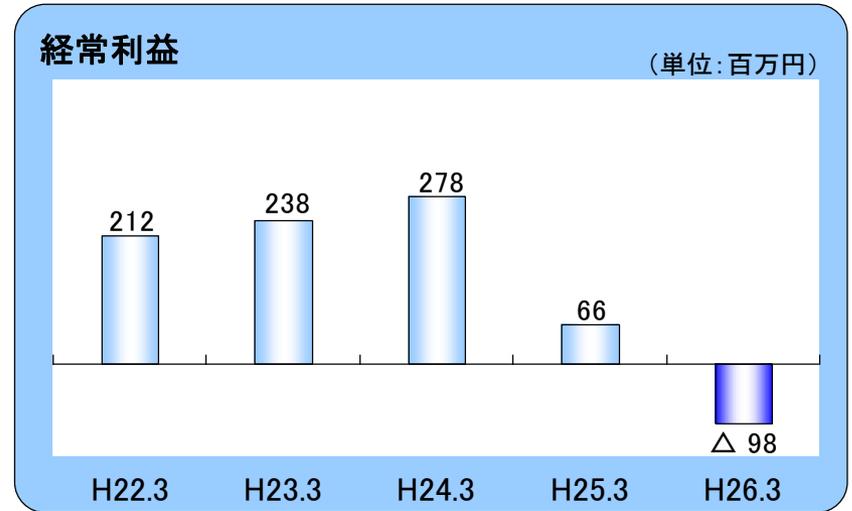
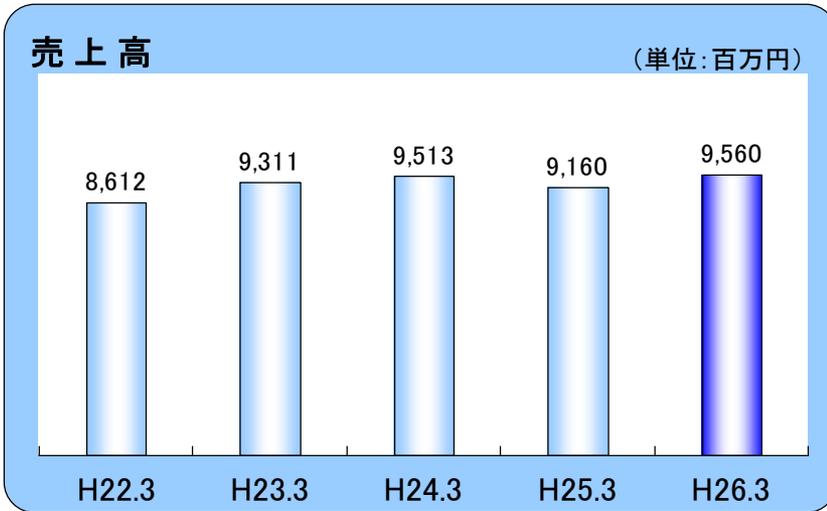
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローについては、有形固定資産の取得による資金の減少等により、16億7千6百万円の資金が減少(前連結会計年度は9億6千7百万円の資金が減少)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローについては、長期借入金の借入による資金の増加、短期借入金の借入による資金の増加等により、4億9千5百万円の資金が増加(前連結会計年度は1億4千万円の資金が減少)いたしました。

業績の推移（個別）



個別財務諸表

貸借対照表

単位：千円

資 産 の 部			負 債 及 び 純 資 産 の 部		
	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在		平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
流動資産	5,085,579	4,769,075	流動負債	1,429,690	1,764,227
現金及び預金	1,845,619	907,586	支払手形及び買掛金	772,010	1,011,059
受取手形及び売掛金	2,456,322	2,700,985	そ の 他	657,680	753,167
たな卸資産	580,926	902,560			
そ の 他	204,679	260,108	固定負債	693,358	1,136,550
貸倒引当金	△ 1,969	△ 2,165	〈負債合計〉	〈 2,123,049 〉	〈 2,900,777 〉
固定資産	6,614,122	7,533,963	株主資本	9,035,869	8,774,802
(有形固定資産)	(2,619,263)	(3,041,631)	資 本 金	1,337,000	1,337,000
建物及び構築物	733,824	1,145,883	資 本 剰 余 金	1,833,576	1,833,576
土 地	1,229,897	1,236,595	利 益 剰 余 金	5,865,990	5,610,007
そ の 他	655,541	659,152	自 己 株 式	△ 697	△ 5,780
(無形固定資産)	(138,949)	(220,236)	評価・換算差額等	540,782	627,458
(投資その他の資産)	(3,855,909)	(4,272,096)	その他有価証券評価差額金	540,782	627,458
投資有価証券	1,483,329	1,615,659	〈純資産合計〉	〈 9,576,652 〉	〈 9,402,261 〉
そ の 他	2,372,811	2,656,892			
貸倒引当金	△ 232	△ 456			
資産合計	11,699,701	12,303,039	負債及び純資産合計	11,699,701	12,303,039

損益計算書

単位：千円

	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高	9,160,111	9,560,153
売上原価	7,676,948	8,163,733
販売費及び一般管理費	1,515,534	1,629,621
営業利益	△ 32,371	△ 233,201
営業外収益	130,233	165,642
営業外費用	31,365	31,201
経常利益	66,496	△ 98,760
特別利益	53,421	751
特別損失	53,723	41,215
税引前当期純利益	66,194	△ 139,223
法人税、住民税及び事業税	8,947	4,208
法人税等調整額	1,476	△ 4,048
当期純利益	55,770	△ 139,383

株主資本等変動計算書 (平成26年3月期)

単位:千円

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成25年3月31日 残高	1,337,000	1,833,576	5,865,990	△ 697	9,035,869	540,782	9,576,652
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 116,599		△ 116,599		△ 116,599
当期純利益			△ 139,383		△ 139,383		△ 139,383
自己株式の取得				△ 5,082	△ 5,082		△ 5,082
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						86,675	86,675
事業年度中の変動額合計	-	-	△ 255,983	△ 5,082	△ 261,066	86,675	△ 174,390
平成26年3月31日 残高	1,337,000	1,833,576	5,610,007	△ 5,780	8,774,802	627,458	9,402,261

トピックス

■ おかげさまで創業75周年 社名ロゴ等を一新

当社は平成26年5月18日をもちまして、創業75周年を迎えました。これもひとえに株主の皆さまやお客さまをはじめとする、すべてのステークホルダーからのご支援の賜物であると深く感謝いたしております。

また、創業75周年を機に、平成26年4月1日より新たなコーポレートカラー“静甲ブルー”を採用し、社名ロゴ・シンボルマークを変更いたしました。これらには、創業の精神を継承しつつ新たな時代にむけた確かな意思を込め、さらに、信頼感、知性、革新にむけた躍動をイメージさせる色・デザインとしました。これからも、今まで培ってきた技術とノウハウをさらに進化発展させ、皆さまのお役に立ちますよう、努力を重ねてまいります。



新シンボルマークおよび社名ロゴ

■ 静岡スバル自動車(株)本社・清水店 リニューアルオープン

連結子会社の静岡スバル自動車(株)が、平成25年10月16日、本社・清水店をリニューアルオープンいたしました。広いショールームやアイサイト体感コースを設置したほか、「スバルの森」をコンセプトに草木を多く配置し、お客さまがくつろげるスペースをご用意いたしました。また、平成26年4月16日には藤枝店もオープンいたしました。今後も、心と心のコミュニケーションを大切に、地元に着目したサービスの提供を心がけてまいります。



静岡スバル自動車(株)本社・清水店(静岡市清水区)

 静甲 SEIKOCO.
株式会社